

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 873 号	氏名	北島 栄二
学位審査委員	主査	小関 弘展	
	副査	田中 悟郎	
	副査	折口 智樹	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、本邦において高齢者が使用する2種類の歩行補助具（歩行車とシルバーカー）の現状を調査し、多角的に分析した上で問題点を提起する内容であり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 高齢者通所施設を利用している高齢者 1247 名から、結果に影響し得る標本選択バイアスを可能な限り除外した後、歩行福祉用具を使用している 97 名を対象とした。歩行福祉用具の使用実態を明らかにし、満足度（福祉用具スコアとサービススコアを含む）および生活機能評価による調査を行った。得られた結果を適切な統計学的手法で解析して結論を導いており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、満足度は両者で差がなかったものの、シルバーカーのサービススコアが低く、生活機能評価ではシルバーカー使用者の活動性高いことを明らかにした。高齢者の転倒予防の観点から、介護保険等による公的な対策や企業のサービス向上などを積極的に訴える考察がなされており、社会に与える影響は大きい。</p> <p>以上のように本論文は高齢者介護および転倒予防研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			